

2008. 9

HIOKI-City <http://www.city.hioki.kagoshima.jp/>

Vol.41

ひおき

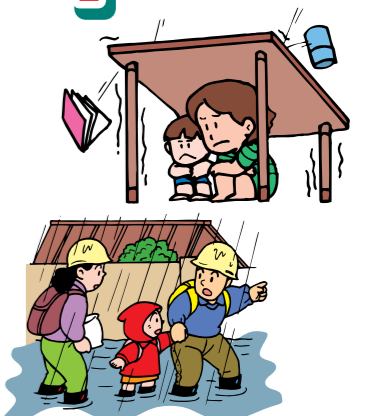
主な記事

- 日置市総合防災訓練2
- 日置市の派遣・交流・研修事業4
- 国際交流員 (CIR) ・外国語指導助手 (ALT) の交代 ...8
- ふるさと納税制度について 10
- まちの話題12
- 市民の広場22



災害への目ざぐるみの備えと

早めの避難を！



「平成二十年八月三十一日、鹿児島県吹上浜沖を震源とする強い地震が発生し、吹上地域で震度5強を観測。一方、薩摩地方では大気の状態が不安定となっており、豪雨、降り始めからの雨量は多いところで400mmに達するおそれ」
また、地震による多数の家屋の倒壊や火災が発生し、豪雨によるがけ崩れや堤防の決壊などへの警戒が必要な状況下。
その時、あなたはどのような行動を、いざという時の判断と行動が生死を分けることになるのです。

迅速かつ的確に

それぞれの役割を再確認

かつてない大地震と豪雨が、同時に日置市を襲うという想定で八月三十一日、吹上浜公園で市防災訓練が行われ、関係機関十七団体が参加しました。
防災訓練は、「情報連絡伝達訓練」と多数の家屋倒壊やがけ崩れの発生、火災の多発、また多数の負傷者が発生しているとの想定で住民への避難誘導、救助訓練、消火訓練、炊飯支援訓練などの「実動訓練」に分けて実施されました。
実動訓練に参加したのは、地元地区の住民約百五十人をはじめ、市消防本部や消防団など合わせて約四百人。住民らは、いざという時に安全で適切な行動がとれるように、それぞれの役割を確認しながら真剣に訓練に取り組んでいました。



▲救出訓練



▲水防訓練(シート張り工法)



▲地域住民をはじめ多くの機関が参加

忘れてくるところに やってくる災害

最近では、岩手・宮城内陸地震(六月・震度6強)や台風および局地的な集中豪雨による被害が発生しており、鹿児島県でも大雨や台風の襲来などによる被害が想定されます。

自然災害の被害を最小限にするには、気象情報などから正確な情報を収集し、また、日ごろから避難などの準備をしておくことが大切です。

参加機関

日置市、日置市消防本部、日置市消防団、第十管区情報通信管理センター、串木野海上保安部、鹿児島航空基地、鹿児島県防災航空センター、日置市医師会、日置警察署、吹上地域五自治会、下草田婦人防火クラブ、日本赤十字社鹿児島支部日置市地区、日置市社会福祉協議会、南九州コカ・コーラボトリング株式会社、南九州ペブシコーラ販売株式会社、社団法人日本自動車連盟鹿児島支部(JAF)、NPO法人九州救助犬協会鹿児島

犯罪多発！ 昨年の1.7倍に増加

住みよい地域づくりは防犯から

日置市内では、本年一月から刑法犯が多発し、七月末現在一九三件の刑法犯を認知しています。これは、昨年の同時期に比較すると八三件、約一・七倍の増加になっています。

昨年、日置市内で発生した刑法犯の認知件数は二一五件で、認知件数を人口一万人当たり換算した犯罪率という数値により、人口二万人以上の県内一九市町と比較した場合、良い方から二番目と至って平穏に推移していましたが、今年六月末の統計では悪い方から八番目になっています。

今年特に増加しているのが、**自転車・オートバイク**、**空き巣**、**車上狙い**で、被害の大半が鍵のかけ忘れ等によるものです。

自動車には必ず**鍵**をかけましょう！
自動車を止めるときは**ロック**を忘れずに！
家を留守にするときは**戸締まり**を！

【各地区の主要窃盗犯】

- 伊集院地区 乗り物盗 空き巣 車上狙い
- 東市来地区 自販機狙い 脱衣場狙い 金属盗
- 日吉地区 金属盗 自販機狙い
- 吹上地区 車上狙い 金属盗 さい銭盗



▲防災ヘリによる救命訓練



▲避難した住民へAEDの講習



▲災害ボランティアセンター



▲災害救助犬による行方不明者の捜索



犯罪のない町に

8月4日伊集院中学校の生徒さんたちの協力をもらって伊集院駅前の放置自転車約150台を撤去しました。9団体約80人が集まりました。

使っていますか

インターネット

子どもたちを犯罪被害から守るために

★携帯電話の光と陰

- 便利な多機能 カメラ、音楽、ネット、メール、ショッピング
- 相手との連絡がいつでも可能

●陰

- 誘惑、詐欺、誹謗中傷、迷惑メール、料金の高騰、ネット依存症
- 「インターネットの罠」
- 自ら危険に入り込む
- 犯罪に巻き込まれる

自分で行っているのに逃げられないと思いませんか

保護者が知らないで守ってやれない防ぐのが難しい

- コンピューター神話
- コンピュータは嘘を付かない、正確だと思いきも正確なのは情報伝達機能だけ

- 罠
- ・出会い系サイト
- ・自殺サイト
- ・学校裏サイト
- ・暴力サイト
- ・アダルトサイト

【フィルタリングとは】必要なサイトと不要なサイトをふるいにかける機能。子供に見せたくないサイトだけをブロック出来ます。

【フィルタリングの設定】

- 保護者が携帯電話会社に申し込めば無料でサービスを受けられます
- 携帯電話の新規契約時申し込めばサービスを受けられます。



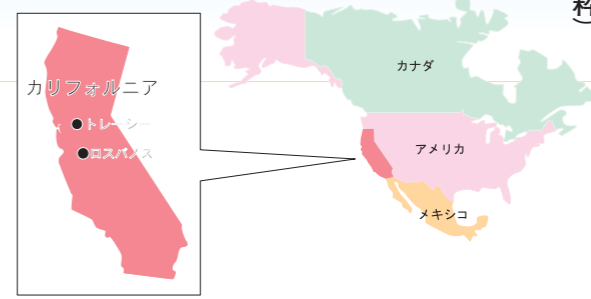
見ない 書き込まない 絶対会わない



'08夏 日置市の 派遣・交流・研修事業

青少年海外派遣事業

この夏、十人の中高生が一月間アメリカに渡り、語学や文化について学びました。学校や地域のリーダーとして、一回り大きくなって帰国した貴重な体験を作文で紹介します。(一部抜粋)



「海外派遣事業で学んだこと」



伊集院北中学校1年 木場 拓人くん

「タクト?」「イエス。」バスから降りると、女の人が話しかけてきた。ママだ。僕はこの夏

た。特にホストブラザーのBranden(十二歳)とはとても仲良くなった。簡単な英語でもできるようになった。四日目、ホストマザーが僕のためにBirthday partyを開いてくださった。仲間も招待して、盛大なパーティーになった。僕は思いがけないことだったのでとてもうれしかった。Brandenは、英語で僕が困った顔を見ると、わかりやすい英語に変えて話してくれたので本当に助かった。自分の気持ちうまく伝えられない時があつて、もどかしい思いをした。自分の英語力のなさに情けなくなつた。そんな僕をみんなが助けてくれた。僕はもっと英語を勉強して、将来アメリカに渡り、日本とアメリカのかけ橋になるような仕事をしたいと強く思った。このホームステイは、僕の人生にとって、とても大切な一カ月になった。

「ホームステイの思い出」



伊集院高等学校1年 松下 紗耶さん

このホームステイに参加して日本ではできない、貴重な日々を過ごすことができました。

また、このホームステイに参加しなければできなかった仲間もたくさんできました。アメリカに着き、ティーチャーコーディネーターといって、私たち日本人留学生のお世話をしてくれている先生二人が出迎えてくれました。出会った時からハグをしてくれて、びっくりしたけれど嬉しかった。ホストブラザーはトレーシーの市議会議員で、子ども達にドラッグやたばこの怖さについて教えている人でした。ホストマザーは医療補助員のような仕事をしている人でした。ホストブラザーが二人、ホストシスターも二人いました。気軽に話しかけてくれて、とてもあたたかい家族でした。学校では、日本では体験できないような授業やアメリカの文化を学ぶ体験をしたりしました。また、ヨセミテ国立公園などの世界的に有名な場所にも行ってアメリカのすごさを感じました。アメリカに行って本場の英語や文化に触れて、今までよりもっとアメリカが好きになりました。次、アメリカに行く時はもっとコミュニケーションがとれて、より充実させることを目標に努力していきたいと思います。

とても貴重な体験をした。朝ご飯の作り方、お昼の弁当の作り方、洗たくの仕方、僕には覚えなければならぬことが山のようであった。どれも日本ではやったことのないことばかりだ。親にやってもらったことがあたりまえのように思い、自分でするなんて考えたこともなかったことをアメリカではあたりまえのように自分でやらなければならぬ。しかし、考えてみればこのおかげで僕はとても自由に生活できたように思う。ママは、僕が選べるだけの食べ物もいつも冷蔵庫に準備してくれていた。こういう優しさもあるんだと感じた。パーベキュー、野球観戦、水泳、僕のためにホストファミリーはたくさん体験をさせてくれた。僕が最初の自己紹介の手紙に書いてあったことを考えて準備してくれたようだ。どれも大きな経験だった。パパ、ママ、キャロライン、アライン、ジョーイ。僕には忘れることのできない、大切な家族だ。僕はファミリーへの感謝の気持ちを忘れない。この一ヶ月の体験を忘れない。そして、この大きな体験をさせてくださった方々への感謝の気持ちを決して、決して忘れない。ありがとうございました。

「アメリカでの一カ月」



日吉中学校2年 脇村 百合恵さん

七月二十四日木曜日の朝、私は鹿児島空港を立ちました。アメリカに着いて、ロスバノスへ向かうバスの中では、皆、ホストファミリーと会話を緊張している様子でした。私も、写真や手紙でしか相手のことがわからなかったもので、とても緊張していました。ついにロスバノスへ到着。バスの外にはたくさんのお宿のホストファミリーが待っていました。バスから降りると、日本の生徒たちはこれからステイする家族と自己紹介をしていました。私はキョロキョロと辺りを見回しました。他の生徒のほとんどはホストファミリーを迎えにきてくれていたのに、私のホストファミリーはまだ現れなかったからです。不安と孤独で私は涙が出そうになりました。これから私は一カ月間暮らせるのだろうか?と不安になりました。しばらくしてから、私は声をかけられました。やっとホストファミリーがむかえに来てくれたのです。ホストファミ

マレーシア親善大使派遣事業

異文化を学んできました

7/20〜7/27



市が国際交流を進めるマレーシアは、多様な文化があふれる多民族国家で、東南アジアに位置するとともに親日的な国です。マレーシアとの友好親善と国際理解を深めるこの「マレーシア親善大使派遣事業」は、平成十一年から始まり、今年で十回目を迎えました。

今年度は、五人(中学生二人、高校生一人、学生一人)の親善大使が派遣されました。七月二十日、国際交流員のザカリヤさん(当時)の引率のもと、不安と期待を胸に日置市を出発、その日の夕方にはクアラランプール国際空港に到着しました。翌日、ホームステイ先のドラニ村に入り三日間のホームステイに入りました。村では、ホタルの鑑賞やバティック染め、鰻釣りなど体験。最後の夜は、村の青年団主催で文化交流会が開催され、伝統

りーは、皆優しそうでした。実際に話してみると、会話はつながるもので、私の不安は一気になくなりました。初めのうちは慣れないことがたくさんありましたが、食べ物や口に合わなかったり、コミュニケーションが十分にとれていなかったり。だけど、そんな部分はホストファミリーの皆がカバーしてくれて私のホームステイはとても楽しいものになりました。お別れの時、私は涙をたくさん流しました。その涙は悲しさの涙ではなく、感謝の涙でした。将来私は、自分のお金でアメリカに行きたいと思えました。そして、私のホストファミリーに恩返しをしたいと思えます。



伊集院中学校3年 田代 拓也くん

「たくさん貯金して、また絶対アメリカに行きたい」これが、帰国したとき家族に話した第一声だった。僕のホストファミリーはとても優しい人たちで、いつも笑顔で接してくれた。そのおかげで三日もすると、すっかりホストファミリーとうちとけ



舞踊の披露があり、さらに「吹上音頭」で交流会が終わりまりました。マレーシアの異文化、習慣、伝統などを理解し、今後国際社会のなかで望ましい活動ができることを期待したいものです。

マレーシアに行く

親善大使団長 有村 玲香さん 三泊四日のドラニ村でのホームステイで、マレーシアでしか経験できない伝統のある「バティック染め」や、日本では見られない野鳥や想像を絶する数の蜜の鑑賞をしました。初めての体験の中、驚きや感動の連続で笑いの絶えない体験ができました。今回、吹上町時代から続く伝統のあるマレーシアとの交流に参加でき、交流・親睦を深め、これまでにない感覚を体感されました。

関ヶ原町・日置市
スポーツ少年団親善交流



関ヶ原スポ少と交流して29年
相互の友好を深める

8/15 8/3

関ヶ原町と日置市では、交互にスポーツ少年団が訪問をしており、今年は寺園本部長を団長として、伊集院バドミントンおよび皆田バドミントンの両スポーツ少年団一行二十二人で関ヶ原町を訪問しました。

子どもたちは、島津義弘公陣地跡や関ヶ原歴史民俗資料館などを見学し、関ヶ原の戦いで敵中突破した島津義弘公の話に真剣に耳を傾けたり、メモをとっていました。

来年は、関ヶ原バレーボールスポーツ少年団の皆さんが日置市へこられます。心からのおもてなしをしたいと思います。

関ヶ原町に行つて

伊集院小六年 西野 裕輝くん

関ヶ原町に行つての思い出は、ミズノテクニクスの見学と、カヌー体験をしたことです。ミズノテクニクスの見学では、イチローと松井のバットを作っている久保田名人に、バットのいろいろなることを教えてもらいました。またカヌー体験は、カヌーの進み方を教えてもらい、木の近くの景色などを見てとっても楽しかったです。

関ヶ原町に行つての感想は、住んでいるところと違って遠くへ行くと、とってもうれしかったことです。また、岐阜県に行きたいと思いました。今回の交流でとってもいい体験ができてよかったです。

チャレンジ屋久島

次代を担う
リーダーの育成

自然の中での生活や野外活動、異年齢集団による共同生活を通して、自主的に活動を企画、実施できるリーダーの育成と次代を担う心豊かでたくましい青少年の育成を図ることを目的に、市青少年リーダー研修事業「チャレンジ屋久島」が実施されました。

今年も、七月二十六日～二十九日の三泊四日の日程で実施され、市内の小学五年生から中学三年生までの児童・生徒三十九人が参加しました。団員は、七



月四日に行われた事前研修会で、これからの計画や心構えの説明を受け、本研修に望みました。「ひと月に二十五日雨が降る」と言われるほど雨が多い屋久島ですが、幸いにして四日間とも好天に恵まれ、野外炊飯活動やテント泊、白谷雲水峽登山などの主要活動が予定通り実施でき、団員たちはきつい体験や不自由な体験、知らない友だちと数日間生活を共にする活動を通して、自分がしなければならぬことを考え、行動できるようになり、また一つ大きく成長しました。今後、団員たちがこの研修の成果を家庭や学校、地域で発揮してくれることを期待します。

チャレンジ屋久島に
参加して



伊集院中学校一年 徳留 紗良さん

屋久島の自然は素晴らしく、白谷雲水峽登山でその豊かな自然に触れ、心も豊かになりました。

「チャレンジ屋久島」での最大の目的は、リーダーとしての自覚でした。団体行動の厳しさや難しさ、野外活動の楽しさ、そしてリーダーとはどうあるべきかを、このチャレンジ屋久島で学びました。この経験を、これからの生活に生かしていきたいです。



岐阜県大垣市青少年交流事業

さらに交流が深まりました

岐阜県大垣市上石津地域の青少年交流団一行(十人)が七月二十四日から二十八日までの日程で来訪し、吹上地域を主にさまざまな体験を通し、交流をさらに深めました。

島津義弘公の菩提寺である徳重神社の参拝や城山公園(二宇治城跡)、亀丸城跡、黒川洞穴、島津豊久公の墓(天昌寺跡)、小松帯刀公の墓(園林寺跡)など史跡めぐりを行いました。

また、美山陶遊館での陶芸や吹上塩の館での天然の塩作り体験もしました。

二泊三日のホームステイでは、日置市の家族とそれぞれ心を通わせて交流、友情を深めていきました。四泊五日の日程での来訪でしたが、子どもたちには、島津豊久公の残した歴史の絆は、交流によってしっかりと引き継がれていきました。



第49回 関ヶ原戦跡踏破隊



薩摩義士の足跡を訪ねて

関ヶ原の合戦や木曾三川の宝暦治水工事で活躍した薩摩義士の足跡をたどる関ヶ原戦跡踏破隊が、八月六日から十日の四泊五日の日程で、岐阜県や大阪府などの史跡を巡りました。

早朝伊集院駅を出発し、昼過ぎには岐阜県関ヶ原町に到着しました。関ヶ原合戦で敵中突破を遂げた陣跡や養老町、海津市では宝暦治水工事で犠牲となった薩摩義士の偉業を学びました。

岐阜県関ヶ原町、滋賀県多賀町と日置市は兄弟都市提携を結んでおり、夏休みを利用して毎年踏破隊が訪問しています。今年で四十九回目の踏破隊には、小学校五年生から中学一年生までの八人と指導者八人が参加。赤い陣羽織姿の一行は六日

関ヶ原戦をしのび、駒野峠から島津越えの滋賀県多賀町まで約七十キロを踏破し、薩摩の先輩の生き方を学ぶ、自己練磨の貴重な体験学習となりました。

異文化交流

日置市の国際交流 発展のために!

マレーシアと日本の架け橋として

マレーシアから
ワン・アフマド・ナザルディンさん着任

日置市の新しい国際交流員（CIR）としてワン・アフマド・ナザルディンさんが着任しました。ワンさんはマレーシア・ケダ州出身の三十一歳。経歴としては、長崎大学 工学部 機械システム工学科を卒業し、現地の日系企業でコードレス電話やFAX機の製品審査、また日本語能力試験一級の能力を生かし、業務基準書や手順書の和訳等を担当していました。



ワンさんはマレーシアの交流員としては三代目で、これから本市の国際交流事業の企画立案や通訳、マレーシア語講座・講



演を通じ、学校や市民の異文化理解のための活動を行います。ワンさんの任期は一年間（更新により最長三年間）で、吹上支所地域振興課で勤務します。「マレーシアと日本の架け橋として、精一杯努力していきたいと思えます。鹿児島弁もたくさん覚えたいです」と抱負を話してくれました。好きなスポーツはバドミントン、趣味は歌や料理をつくること。

東市来支所で勤務する韓国からの国際交流員李さんとも力を合わせ、交流の輪が広がることを期待します。

ザカリア・ビン・ムスタファさん

3年間ありがとうございました



日置市国際交流員のザカリア・ビン・ムスタファさんが三年間の任期を終え、7月29日にマレーシアへ帰国しました。

ザカリアさんは平成17年8月に着任。市内小・中学校を中心にマレーシアの遊びや歌などを通じた国際理解活動や地域での女性問題および宗教などの講演。また、舞踊や語学講座に取り組みました。

ザカリアさんは、「日置市での経験を今後の人生に生かしていきます。3年間本当にありがとうございました」と思い出をかみしめながら話しました。

ALT着任

日置市の新しい外国語指導助手（ALT）として、アメリカのフロリダ出身のカラン・カルハンさん、イギリスのヨーク出身のフォンス・クリストファーさんが着任しました。八月八日には、市長へのあいさつを済ませ、あらためてALTとしての決意を語ってくれました。新しく着任した三人のALTは、子どもたちに英語を教えることや日置市の皆さんとの交流を楽しみに行っています。市内で見かけたら気軽に声をかけてみてください。



吹上地域 ALT



カラン カルハン
Karan Kalhan さん

Hello! 私はカランです。アメリカのフロリダ州ジャクソンビル市から日置市吹上町に来ました。私は22歳で、バスケットボールとアメリカンフットボールが好きです。大学で日本語を勉強しましたが、あまり上手ではありません。これから勉強したいと思いますので、よろしくお願いします。日置市は、自然が美しく、人々が親切で、食べ物おいしいです。特にたこやきが好きです。早く皆さんと仲良くなりたいと思います。どうぞよろしくお願いします。



伊集院地域 ALT



カロン ジュリア
Caron Julia さん

初めまして。私は、ジュリアです。今年、大学を卒業しました。専攻が日本語でしたが、まだ、上手ではありません。ALTとして、英語を教えるだけではなく、日置市の人たちと日本語で話してみたいです。鹿児島弁も知りたいと思います。いちき串木野市は、私の出身地の姉妹都市なので、鹿児島県に住む機会を持ってとてもうれしいです。どうぞよろしくお願いします。



東市来地域 ALT



フォンス クリストファー
Fonth Christopher さん

初めまして。東市来地域のALTのクリスです。私は、旅行やスポーツ、読書が大好きです。日本にいたる間、できるだけ多くのことに挑戦してみたいです。特に、日本料理を作ったり温泉に行ってみたりしたいです。ALTとして英語やイギリスの文化を勉強したいすべての人に一生懸命教えたいと思います。そして、日本語や日本の文化を一生懸命勉強したいと思います。どうぞよろしくお願いします。

ALT帰国



▲ロクサナ・モンドラゴンさん



▲シャー・デービットさん

▲キンバリー・ヒューズさん

これまで、日置市の外国語指導助手（ALT）として活躍していただいた三人のALTが、任期満了のため帰国することになりました。今回、帰国するのは、東市来支所のキンバリー・ヒューズさん（イギリスのハーク出身）、伊集院本庁のロクサナ・モンドラゴンさん（アメリカのシカゴ出身）、吹上支所のシャー・デービットさん（アメリカのシアトル出身）です。三人は、任期中に英語教育だけでなく、地域の行事などに積極的に参加し、多くの人と交流を深めてきました。帰国するにあたり、これまでの経験をこれからの生活に活かしていきたいと語ってくれました。三人の健闘をお祈りしたいと思います。

日置市への応援をお願いします！

○ふるさと納税制度とは？

生まれ育った「ふるさと」を応援したい、「ふるさと」に貢献したいという方々の思いを活かすことができるように、住民税に対する寄附金税制を拡充することで導入された制度です。

○ふるさと納税制度の仕組み？

出身地や応援したい市区町村・都道府県に対して寄附をすれば、寄附金額から五千円を差し引いた金額について、個人住民税所得割の概ね一割を上限とし、寄附をされた年分の所得税と翌年度分の個人住民税の軽減措置が受けられます。

寄附金としてふるさとへ納付した金額の一部が個人住民税などから軽減されることで、結果的にふるさとへ納税した形になることから「ふるさと納税」と呼ばれています。

○日置市の取り組みは？

日置市では、皆様からお寄せいただいた寄附金を、「環境の保護・健康・福祉の増進、観光・産業の振興、ひとつづくりのため

○手続きはどのようなの？

「日置市応援寄附金申込書」に必要事項をご記入のうえ、メールかFAX、郵送のいずれかでお申し込みください。申込書が確認できましたら、当市から寄附金の払込方法等のご案内を郵送させていただきますので、その案内書をもとに寄附金をお振り込みください。

入金を確認できましたら、当市から証明書を郵送いたしますので、お住まいの地域の税務署等で確定申告等を行うことにより、寄附された年分の所得税の還付（または控除）と、翌年度分の個人住民税の税額控除（軽減）を受けることができます。お送りする証明書は確定申告の際に必要となりますので、大切に保管しておいてください。

※「注意」ください！

寄附金は皆様の自発的な善意を活かしていただくものであり、決して寄附を強要するものではありません。また、お申し込みのない方へ、現金自動預払機（ATM）等による振込をお願いすることは一切ございません。「ふるさと納税」をかたった寄附の強要や詐欺行為には十分にご注意ください。

の教育、市民との協働によるまちづくり」のための事業に活用させていただく予定ですが、寄附金のお申し込みの際に、たとえば「高齢者福祉の増進」や「小中学校の図書購入費」など、使いみちを指定することもできます。

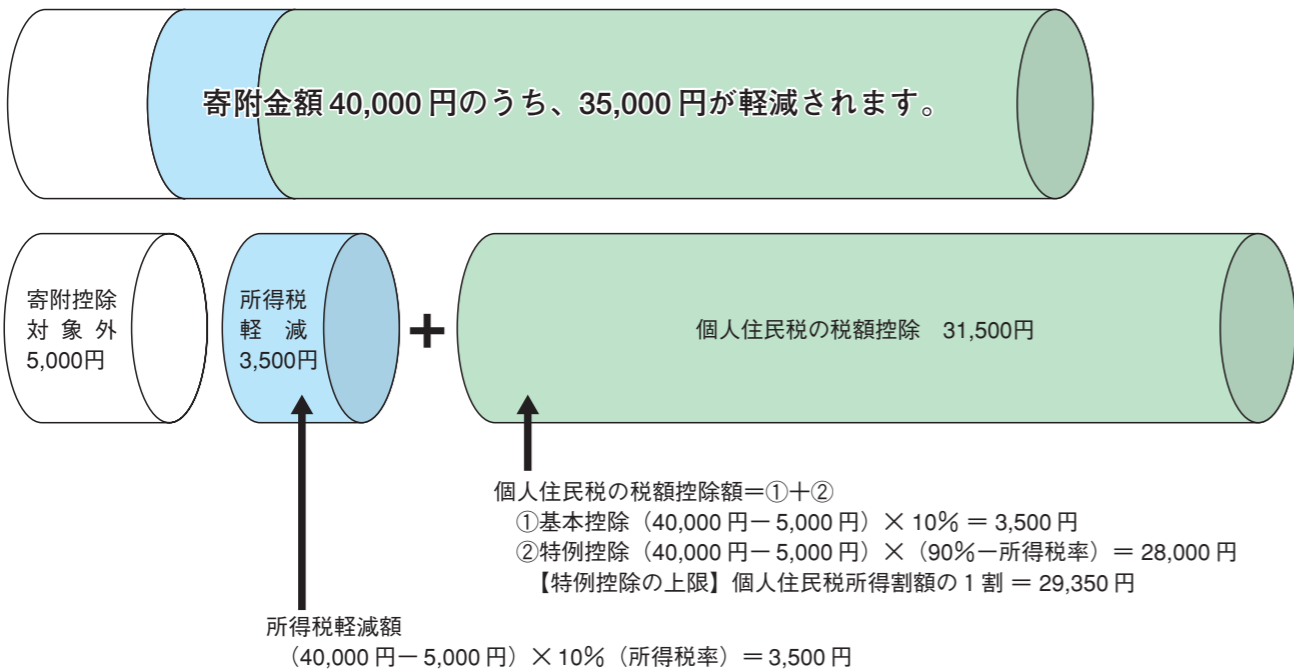
また、鹿児島県と県内全市町村では「かごしま応援寄附金募集推進協議会」を設立し、鹿児島県にゆかりのある県外在住の方々に対して、「一体となってかごしま応援寄附金」を募る取り組みも行っています。「かごしま応援寄附金」は県が受入窓口となり、寄附金額の6割が市町村に配分されます。

「地理的特性と歴史や自然との調和を生かしたふれあいあふれる健やかな都市づくり」に取り組み日置市を応援していただけるよう、市外で活躍されるご家族やご友人への呼びかけをお願いいたします。

寄附金控除の計算

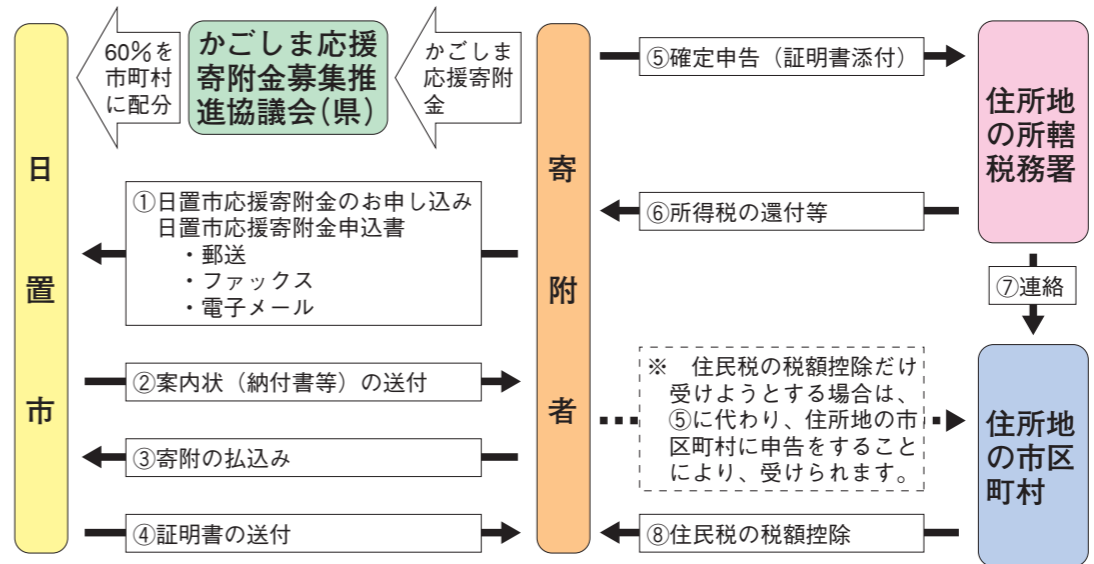
- ・ 給与収入 700 万円 で 夫婦 2 人 の 場合
- ・ 所得税 の 税率 10%
- ・ 個人住民税 所得割額 293,500 円

寄附金額 40,000 円



- ※ ふるさと納税制度による寄附金控除を受けるためには、寄附金の証明書を添付し、住所地の所轄税務署等で所得税の確定申告等の手続きをしていただく必要があります。
- ※ 確定申告をしますと、寄附をされた年分の所得税還付と、翌年度分の個人住民税の税額控除が受けられます。
- ※ 平成 20 年 1 月 1 日以降の寄附金から適用されます。

ふるさと納税制度の手続きの流れ



- ※ 「日置市応援寄附金申込書」は市ホームページからダウンロードできるほか、郵送でもお送りしますので、電話にてお問い合わせください。
- ※ 「かごしま応援寄附金」の手続きの流れは、日置市応援寄附金の場合とおおむね同じですが、申込書の様式等が異なります。詳しくは県ホームページをごらんいただくか、電話にてお問い合わせください。
- ※ 「かごしま応援寄附金」は 4 割が県の施策、6 割が指定市町村の施策に活用されます。お申し込みの際は、ぜひ日置市を指定してください。

※お問い合わせ先

寄附金の手続きに関すること 本庁財政管財課財政1・2係 又は 各支所地域振興課財政管財係
 税の軽減措置に関すること 本庁税務課市民税係 又は 各支所地域振興課市民税係
 電話番号(代表) 本庁099-273-2111 東市来支所 099-274-2111 日吉支所 099-292-2111 吹上支所099-296-2111

寄付・寄贈のお知らせ

青少年育成などに有効利用
 平成十九年度中に、次の個人、団体から多額の金品をいただきました。
 この貴重な財産等は、市の行政施策推進のために有効に活用させていただきました。ありがとうございます。

- 【寄付金（順不同）】
- 小山田桂子 様 (大阪府) 三千元
 - 山野 満藏 様 (東京都) 八千元
 - 本田 勝彦 様 (東京都) 百万円
 - こけけ特産品販売所 様 二十六万三千元
 - 南九州カントリークラブ 様 百万円
 - 関西伊集院会 様 一万円
 - 【物品】
 - 株式会社南栄マテリアル 様 桜二本



拉致問題を風化させないように

拉致被害者救出支援チャリティコンサート

昭和五十三年八月十二日、吹上浜海岸で、市川修一さんと増元るみ子さんが、北朝鮮に拉致される事件が発生し今年で三十年が経過しました。この事実を風化させることのないように、

家族の支援と、二人の早期帰国を願い、拉致被害者救出支援市民の会（北野和則代表）が主催となつて吹上浜公園中央広場で、拉致被害者救出支援チャリティコンサートが八月十二日開催されました。

受付会場では、市川さんの兄健一さん夫婦も参加して、来場者に署名や支援を訴えていました。北野会長の「拉致問題を真剣に考え、みんなで力を合わせ必死になつて問題を考えたいかねばならない」とあいさつがあ

り、宮路市長から「家族会は一致団結して、みんながいつも心にとめていただき拉致問題を風化させることのないように今後とも支援をしていきたい」とあいさつがありました。

その後、この趣旨に賛同し出演を快諾していただいた県内のミュージシャンの演奏などが披露されました。

最後に、増元るみ子さんの弟輝明さん夫婦および姉の平野フミ子さんも駆けつけ、観客に拉致被害の支援をそれぞれ訴えました。

なお、午前中は、鹿児島県警や沿岸防犯協力会および行政など炎天下の中、吹上浜拉致事案の広報活動を関係者五十人余りで行いました。

神之川中流域の早期改修を！

神之川水系中流域早期改修決起大会

第一回神之川水系中流域早期改修決起大会が八月六日、日置市商工会館で地元住民など約百三十名が参加し開催されました。これは、平成五年八月六日の

甚大な水害から十五年目を迎えた現在も、神之川中流域の改修が進んでいないことから、国や県へ早期改修のお願いをしよう

と行われたものです。

早期着工協議会の橋口正太郎会長に続き、宮路市長があいさつ。その後、鹿児島地域振興局建設部日置支所長からこれまでの経緯について説明がありました。

また、「住民の安心、安全な生活を守るためにも、一日も早く伊集院中央地区、神之川水系中流域改修をお願いします」と大会宣言が読み上げられました。



久しぶりの再会でした

関東鹿児島吹上会

関東鹿児島吹上会が六月二十九日、東京の八重洲富士屋ホテルで開催されました。

総会は二年おきに開催され、今年で第九回目。関東近辺在住の吹上町出身の方々総勢二百名が参加し、宮路市長も出席しました。

会長あいさつのもと、宮路市長が来賓あいさつを行い、郷土の現況について紹介しました。

総会終了後は、吹上町出身の歌手、福元慎一さんの歌謡ショーや抽選会が行われるなど終始盛り上がりがありました。

懇親会では二年ぶりの再会とあって故郷への思いなどの話題で盛り上がり焼酎のおいしい一日でもありました。

また、会場内では吹上町の特産品の販売もあり、お目当ての商品を買い求めていました。

水道用地をすっきり清掃

管工事組合

日置市管工事組合（二十五社加盟・須藤齊組合長）の皆さんが八月七日猛暑の中、市内の水

源・配水地の草払い清掃ボランティア作業を行いました。

同組合では毎年ボランティア作業や水道工事技術向上の研修などを実施しています。今回は組合員三十九人が水道施設を分



▲吹上東部水源地

担し、長く伸びた草木の除去に大粒の汗を流しました。

すっきりときれいになった水道施設に「おいしく・安全で安心して飲む水を供給する水道

少林寺流錬心館外国人門下生が表敬訪問

少林寺流錬心館



七月二十七日に大阪府で開催された、少林寺流錬心館全国空手道選手権大会に海外から参加

した門下生が七月三十日、市長を表敬訪問しました。訪問したのは、米自治領プエルトリコ副本部長アダルベルト・ロザリオ師範、アメリカ・モン

トール、ロサンゼルスで道場を開いている、ウイリアム・カンデラリオ師範ら十人。

なお、プエルトリコ選手団のアダリス・ロザリオ三段は、全国大会一般女子組手試合において三位入賞を果たしました。また、海外門下生は、日置市の錬心館総本山で保蔵宗家の指導を受けながら、武道の精神を学びました。

安全運転に心がけて

二輪車講習会

日吉地域交通安全母の会主催の二輪車講習会が八月八日、行われ血圧測定をして、説明を受けたあと、実技を行いました。

日吉総合体育館の駐車場に設置されたコースをミニバイクで走行し、指導を受けていました。電動カーでの参加者もあり、指導員がついて走行していましたが、日頃の運転とは違い、緊張しているようでした。

参加者は、「この講習会で、交通ルールや運転マナーについて再確認し、交通安全に心がけたい」と話していました。



上手に話すより心を込めて

ビジネスマナー研修会



ビジネスマナー研修会が、七月十一日、市中央公民館で開催

され、異業種交流懇話会会員ら三十人が参加しました。

講師はフリーアナウンサーの中村朋美さん。「すぐに役立つビジネスマナー」と題して表情、あいさつ、電話対応など実践を交え研修しました。

「上手に話すことよりも、相手との関係や距離感を大事に心のこもった言葉使いをすることが大事」と思いを伝えるための話し方やマナーを学びました。

書くことの楽しさを学びました

わくわく作文塾

夏休み期間中の八月四日・五日と二十日・二十五日に市中央公民館および日吉地域中央公民館、吹上地域中央公民館において「わくわく作文塾」が開催されました。

本事業は、日置市教育委員会の「夢をもち あしたをひらく 心豊かな人づくり」の基本目標を具現化する一方策として、児童の「書く意欲」を受け止め、平成十八年度からスタートしました。

過去二年間で、約七百人の児童と約百人の小学校教諭が参加しており、今夏で八回目の開催

になります。

今夏は、合計二百人の児童および四十人の小学校教諭が参加しました。

児童は、「わくわく作文塾」で作文の構想・記述・推敲の仕方を選び、夏休みの思い出などを作文用紙にまとめることで、書くことの楽しさを味わうことができました。

なお、「わくわく作文塾」は、冬休み期間中にも開催する予定です。その際は、各小学校を通じてご案内しますので、多くの皆さまのご応募をお待ちしております。



▲市中央公民館の様子



▲吹上中央公民館の様子

「明くれど閑さす〜」郷土の歌を軽快に暗唱

妙円寺詣りの歌暗唱大会

「妙円寺詣りの歌」の暗唱大会が八月二十一日、伊集院地域の各地区公民館で行われました。

これは、22番まである同歌を覚えることで郷土に関心を持ってもらおうと、伊集院の小中学生を対象に行なわれている恒例行事で地域の小中学生四百七十四人が参加。

今年も、月色コース（22番まで）五十八人、烏頭坂コース

（15番まで）九十七人、団体（22番まで）百十八（三百九十九人）団体。

今年で、月色コース二回完唱の福留俊樹君（伊集院小六年）は、「歌う前は緊張しましたが、去年よりも落ち着いて大きな声で歌えました。中学生になっても挑戦していきたいです」と満足そうに話していました。



願いを込めて

明信寺保育園 「七夕くばり」

明信寺保育園の園児が作った七夕飾りを七月三十一日、十一人の子どもたちが、日置市役所

日吉支所へ届けてくれました。「お仕事がんばってください」と、支所長に手渡す子どもたちの無邪気な笑顔に、心が癒されました。

そのほかにも、特別養護老人ホーム青松園や日吉老人福祉センター、日置郵便局など、十二カ所に、毎年届けているそうです。

子どもたちが願いを込めて作る七夕飾り、来年も楽しみます。

全国市町村教育委員会連合会表彰

日置市教育委員会

元日置市教育委員の佐藤常昭さん（東市来）の永年の功績に対し全国市町村教育委員会連合会から表彰があり八月十一日、教育長室において伝達式が行われました。

佐藤さんは、昭和六十二年から平成十七年まで旧東市米町教育委員として務められ、その間、七年間にわたり教育委員長も務められています。

また、平成十七年から平成十九年までは日置市教育委員として、通算二十年余りにわたって教育委員を務められました。

その間、中小学校の施設整備の充実や図書館・学校給食センターの整備に努められるなど教育の振興に尽力されました。

英語を話す楽しさを学びました

日置市英語村

「日置市英語村」が八月二十一日から二十二日にかけて、高山地区公民館（東市来）で行われました。

この事業は、市内の参加希望の児童（五・六年生）と外国人指導助手・国際交流員および日置市内小学校教諭などが、英語だけを使いながら生活をするというものです。

小学校の英語活動は、平成二十三年度から全小学校の高学年において実施されるということもあり、全国的に関心が高まっています。

今年も、二十三人という多くの児童が参加しました。

当日、児童は外国人指導助手や国際交流員の英語による説明を聞きながら、米国風・英国風の料理づくりに挑戦したり、キヤンプファイヤーや英語ゲームを楽しんだりしました。キャンプ当初は戸惑いがちだった子どもたちも、時間がたつにつれ、簡単な英単語を話したりジェスチャーを交えたりすることによって、外国人指導助手や国際交流員とコミュニケーションをとることができるようになりました。



子どもに寄り添った支援のあり方を学ぶ

日置市子ども支援センター講演会

育児や子どもの健康・教育などに関する相談活動を主に行っている日置市子ども支援センター（福祉課・健康保険課・学校教育課により運営）の講演会が七月三十一日、市中央公民館で開催されました。

テーマは「不登校の子どもに寄り添ったよりよい対応のあり方」で、不登校を経験した保護者や学校関係者の事例発表、鹿児島大学教育学部の大坪治彦教授の講演に、学校関係者をはじめ、主任児童委員・民生委員・母子保健推進員・一般市民の皆さん二百四十六人が耳を傾けました。

「た」という言葉に心を打たれた」という言葉に心を打たれた。

・カウンセリング法を学んだ。
・子ども支援センターを身近に感じることができた。

なお、子ども支援センターは、ゼロ歳から十八歳までの子どもに関する相談を平日は毎日受け付けています。お気軽にご利用ください。

電話〇九九・二七二・二三〇九





第32回全日本少年サッカー大会鹿児島県予選で3位入賞

日置JSC(日置ジュニアサッカークラブ)

日置市内で活動している三スポーツ少年団から構成する日置JSCが、六月十五日を皮切りに始まった第三十二回全日本少年サッカー大会鹿児島県予選に参加しました。
結果は、一回戦、二回戦と順調に勝ち上がりましたが、決勝進出をかけた準決勝で、惜敗し、三位となりました。
惜しくも全国大会への切符は、

逃しましたが、八月二日から南さつま市で開催された九州大会に鹿児島県代表の一チームとして出場しました。
今後、さらなる活躍が期待されます。

鹿児島県大会 参加総チーム数 百四十四チーム
九州大会 参加チーム数三十一チーム

青空のもと、一生懸命プレー

伊集院地域七夕早朝ソフトボール大会



温も上がり、汗だくになりながら一生懸命プレーする子どもたちに、育成会役員や保護者からは熱い声援が送られていました。結果は次のとおりです。
(敬称略)

- 【優勝】 妙円寺八区
- 【二位】 妙円寺三区育成会
- 【三位】 妙円寺九区インディアンス町中央

まちの話題

発足して20年

日曜テニスクラブ

日曜テニス二十周年記念大会が八月三日、ふれあい健康センター(伊集院)で開催されました。

この大会は、昭和六十三年に旧伊集院町体育協会主催の硬式テニス教室がきっかけで発足したテニスクラブが今年で二十年を迎えたことを記念し、さらなる親睦を深めるために行われたものです。
川畑末盛会長は、「今年でテニスクラブが発足して二十年を迎えましたが、これからも、二十五年、三十年と続けて行きたいです」と話していました。



まちの話題

あついでょう! 砂像制作

国際サンドアートフェスティバル2008



「国際サンドアートフェスティバル2008」が八月二日、東市来地域江口浜海浜公園で開催されました。
花火の合図により、砂像制作(三十五チーム参加)がスタート。
強い日差しの中、家族、仕事仲間、友人など五人一組で砂像制作に没頭し、二時間の制限時間内で砂像を完成させました。
その他、砂を制限時間内に高く積み上げる「age age(アゲ アゲ)」という競技がありました。
なお、入賞チームは次のとおりです。

- 【優勝】 照島天狗どんず
- 【二位】 うなぎマスター中原
- 【三位】 バッカス
- 【南日本新聞賞】 A Watch men's
- 【商工会賞】 M's(エムズ)
- 【青年部賞】 チーム西
- 【審査員特別賞】 太陽の子
- 【ユニーク賞】 トークハード ユッキー
- 【ECO賞】 かごしま香港クラブ
- 【ちびっこ賞】 スターマン

幻想的な送り火

北山の火振り

北山の火振りが八月十五日、北山自治会の納骨堂広場で行われました。
百年以上前から伝わるこのお盆行事は、昔、北山どんと梅木どんの戦があり、敗れた北山どんの霊を慰めるために始まったとされ、無縁仏を供養するために行われています。
夕暮れ時、長さ五、六メートルの孟宗竹の先端に薪を束ねた



ものを取り付けた松明に火が灯され南北に大きく振られました。物静けさの中、振られる光景は幻想的な世界を作り出していました。
終盤には、竹で組まれた矢倉に火が灯され、燃え上がる火の中、勇敢にも青年たちが先端に飾られた団子を取り、火振りは終了しました。

復活を願って

養母スイカ会 養食

養母スイカ食味会が八月八日、日置市役所東市来支所で行われました。
「養母スイカ」は、昭和四十年初めまで東市来地域養母地区を中心につくられていたブランドスイカで、白黄色いわゆる「銀スイカ」と称されるものが原種

です。
生産農家の船倉保さんが、奈良県の農場へ研究用に寄贈していたものが平成十六年に里帰りし、五年目にして植付けがようやく落ち着いてきたので、今回の食味会となりました。
食味会に出されたスイカは全部で七個。大きいもので約九キロ。糖度は十〜十二度で、上々の出来上がりでした。
養母スイカは、県の「かごしまの伝統野菜」十四品目の中に選定され、県HPに掲載されています。

勇壮な踊りを披露



鹿児島県の無形民族文化財である伊作太鼓踊りが八月二十七日、南方神社に奉納されました。今年踊ったのは、湯之浦地区（ふもと・小牧・北湯之元・南湯之元・永野の各自治会）の保存会の人たちで、踊り子は鉦（かね）四人、小太鼓を担当する中打ち四人、平太鼓十二人。年に一度の踊りを見ようと集まった観衆も、境内に響く鉦や太鼓の音や、矢旗をしながらの勇壮果敢な踊りに惜しみない拍手を送っていました。

伊作太鼓踊奉納

東市来地域において、八月十日、二年ぶりに「皆田太鼓踊り」が、八月十五日、三年ぶりに「伊作田踊り」が、八月二十四日、四年ぶりに「下養母太鼓踊り」が行われました。踊りは、哀調を帯びた鉦（かね）に太鼓を交えた踊りであり、田植えが終わわり、虫がつかないようにと「虫追い」や雨乞いの祈願等のために行うといわれています。

三つの太鼓踊りがそろって行われるのは十二年ぶりで、次回、太鼓踊りがそろうのは、平成三十二年となります。

太鼓踊りの饗宴

皆田太鼓踊り、伊作田踊り、下養母太鼓踊り



▲皆田太鼓踊り



▲伊作田踊り



▲下養母太鼓踊り



▲北区太鼓踊り



▲諏訪太鼓踊り

日吉地域の太鼓踊りが、吉利北区は八月二十四日、日置八幡と日置諏訪は八月三十一日に、それぞれの神社で奉納されました。猛暑にも負けない力強い太鼓と鉦（かね）の音が各地区に鳴り響き、色とりどりの矢旗が舞い、観客も見入っていました。両日とも晴天に恵まれ、早朝から夕方まで公民館や施設など、各地区は多くの人でにぎわいました。

猛暑を吹き飛ばす太鼓踊り

北区太鼓踊り、八幡太鼓踊り、諏訪太鼓踊り



▲八幡太鼓踊り

絆がつないだ伝統



八月、各地で伝統行事の太鼓踊りが行われました。色鮮やかな矢旗が舞い、迫力ある太鼓や鉦を打ち鳴らし、若者が伝統を受け継ぎます。

伝統の太鼓踊り

永吉の太鼓踊りは平成十七年の関ヶ原合戦四百年を期に復活し、八月二十四日、三年ぶりに奉納されました。踊り手は、地区内の中学生から社会人までの勇志、奉納では若々しくすがすがしい空気が漂っていました。太鼓踊りを絶やすまいと、地

永吉地区太鼓踊奉納

区公民館が全面的に支援、踊り子と指導者たちは、一生懸命練習に励んできました。また、家族も当日の付き添いなど、側面から支えてきました。久多島神社奉納の後、地区内二十三カ所奉納されました。三年ぶりの奉納とあって、奉納のある場所では、大勢の観衆が詰め掛け惜しみない拍手を送っていました。



▲あつま太鼓（銀天街）



▲ナイアガラ滝（土橋地区）



▲土橋小学校の児童の演技



▼オカリナ演奏

▲絵本読み聞かせ

八島太郎生誕百年祭

八島太郎 世界の民芸品展

東市来地域美山の元外相東郷茂徳記念館で七月十五日から三十一日まで、「八島太郎コレクショ」世界の民芸品展」が開催されました。八島氏は、明治四十一年根占町に生まれ、昭和三十七年以降数回に渡り、東市来地域湯之元の友人宅に滞在し、鶴丸小児童に絵の講演や沈壽官窯で絵付け、また、天神ヶ尾でキャンプをして、後に絵本「海浜物語」として出版するなど、地域にゆかりのある人物です。

主催は、「八島太郎生誕百年祭」実行委員会（池満渉委員長）。八島太郎収集の民芸品や八島氏の絵、絵本を展示。初日、日曜日は、オカリナ演奏やミニコンサートが開かれ、二十日からは八島氏の絵本の読み聞かせが毎日あり、期間中の来場者は、千五百人を超えました。今後、九月十八日から南大隅町根占図書館で、来年五月には長島美術館（絵画中心）で展示されます。

猛暑の夏、暑さを吹き飛ばす夏祭り

銀天街・向江町・上土橋地区夏祭り（伊集院地域）

猛暑の夏、暑さを吹き飛ばす夏祭りが銀天街、向江町、土橋地区で行われました。銀天街では七月二十六日、向江町は八月三日、土橋地区では八月十六日、それぞれ行われ、

ステージでの子どもたちの踊りや歌謡ショー。また、銀天街と土橋地区では、夏の夜空を彩る花火も打ち上げられるなど訪れた人たちは暑さを忘れて楽しんでいました。



▲伊集院幼稚園の演技（銀天街）



▲堀江淳さん（向江町）



▲鹿児島城西高校 GEIBUNのみなさん

戸籍の窓

このコーナーに掲載を希望されない方は手続きのときに、お申し出ください。

伊集院地域

8月受付分(敬称略)

(出生児)	(保護者)	(自治会)
下笠 優子	和之	腰
西田 都姫	拓矢	妙円寺三区
有馬 満	裕之	徳重東
窪田 朗洋	卓朗	大田上
内 和音	健一	朝日ヶ丘
東 幹花	徳幸	郡下
前 颯介	裕一	麦生田東
大 雷輝	浩一	妙円寺七区
川崎 祐輝	啓祐	上之馬場
甫立 卓聡	将章	徳重東
満富 琴奈	大介	郡上
上橋 奈和	勤	つじヶ丘二区
追立 侑輝	充	宮脇
中窪 心咲	雅人	徳重東
勝田 晃成	一生	徳重東

おめでとう

8月受付分(敬称略)

(出生児)	(保護者)	(自治会)
内野 沙紀	宏信	南湯之元
新地 真依	正夫	藤元
有馬 真依	正貢	西本町
馬場 亮治	康雄	今田
村田 大知	幸男	下草田
赤井 智子	晋平	小永吉
松下 璃音	泉	荳岡
西羽田 翔太	入来	入来

おぐやみ

8月受付分(敬称略)

(故人)	(享年)	(自治会)
立岡 勝代	63	大田下
福園 雪恵	59	つじヶ丘区
岩川 紋己	2	清藤
新原 ト子	93	つじヶ丘二区
末永 正廣	59	上方限
宮下 エイ子	75	上方限
藤崎 巧	55	朝日ヶ丘
有村 哲至	76	下神殿二区
吉村 藤夫	79	瀬戸内
鈴木 義弘	89	中央通
中敷 義茂	75	平古
藤松 清子	77	麦生田中
今村 清子	77	大田中
笹川 章	77	妙円寺一区
園田 ヨミ子	81	妙円寺七区

吹上地域

8月受付分(敬称略)

(故人)	(享年)	(自治会)
平川 拾一	94	諏訪
黒木 チモ	91	帆之港
松山 スミエ	98	青松園
原口 重信	79	草原
原島 光憲	64	中区
馬場 洋一	49	日新
小正 ハルエ	80	八幡

東市来地域

8月受付分(敬称略)

(故人)	(享年)	(自治会)
瀬戸口 フミ	98	田代
切手 三郎	86	堀内
秋嶺 フミエ	92	田之湯
重水 フミ	89	田之湯
吉田 清吉	93	川北
西 晋	81	杉之迫
上池 フミ	101	柿之迫
福添 清二	86	元伊作田

日吉地域

8月受付分(敬称略)

(故人)	(享年)	(自治会)
内司 玲華	竜	杉之迫
内司 玲華	竜	杉之迫

健康情報 ひおき

シリーズ29

みんなですすめよう!「元気な市民づくり運動」

～地域づくり編：声かけて みんなで集う 地域の和♪～

* 地域の健康づくりサポーター *

保健推進員

日置市では、303名(各自治会に1～3名)の保健推進員さんが地域で健康づくりサポーターとして活動しています。その中でも特に活発に自身も楽しんで健康づくり活動に取り組んでいる伊集院地域下方限自治会の保健推進員さんの活動を紹介します。

下方限自治会では、保健推進員の正木さんと山之内さんの2名が中心となり、婦人部のみなさんと一緒になって健康づくり活動をしています。下方限自治会は昨年春に4つの自治会が合併してできた自治会です。合併後、保健推進員さんの声かけで、自治会のみなさんで健康食の料理教室をしようと集まったことをきっかけに色々な健康づくり活動が始まりました。

*いきいきサロン四葉花

月に2回、「下方限さんぽ」の替え歌を歌いながら、ウォーキングをしたり、田植えや田之神祭などの自治会活動に参加しています。仲間と楽しく交流することで心の健康にもつながっています。



春には山菜摘みをしながら歩きます。採った山菜は料理にしてお食事会をしています。



*陣羽織づくり

妙円寺詣りで、こども武者と一緒に参りをしようと陣羽織づくりに励んでいます。手作りの陣羽織を羽織って伊集院のまちを練り歩こうと意気込んでいます!



*自治会だより

自治会長さんが作成する自治会だよりに、健康に関する情報を掲載しています。いきいきサロンの呼びかけや熱中症予防・結核レントゲン検診のお知らせなどを掲載し、自治会のみなさんへ健康に関する情報を発信しています。



下方限さんぽ

歩こう 歩こう わたしは元気
歩くの大好き どんどんいこう
一番) 小原に市来 本平と
川畑の4区をめぐって
下方限はよかとい
五番) 燃やそう情熱 体脂肪
検診もすすんで受けよう
医療費減らし 両得だ
七番) 会合 研修 レクリエーション
情報の提供地として
地域に根ざす 公民館

1に運動 2に食事
しっかり禁煙 最後にクスリ
～良い生活習慣は、気持ちがいい!～

かごしまで 元気・ふれあい・ゆめ噴火

ねりんピック鹿児島2008

第21回全国健康福祉祭かごしま大会
平成20年10月25日(土)～28日(火)

第21回全国健康福祉祭かごしま大会(ねりんピック鹿児島2008)が鹿児島県を会場に10月25日(土)から28日(火)の日程で開催されます。

60歳以上の高齢者を中心に25種目のスポーツや文化交流大会のほか、文化イベントなど関連イベントが県内各地で開催され、日置市では、ソフトボールとウォークラリーの2つの交流大会を開催します。

大会期間中、全国から多くの選手、役員の方々が日置市を訪れます。

日置市の魅力を全国に情報発信する絶好の機会です。市民全員で温かくお迎えいただき、会場での声援をよろしくお願いいたします。

また、会場では、体脂肪、腹囲などの測定や健康相談を行う健康づくり教室も開催します。どなたでも気軽に利用できますので市民の皆様も多数ご来場ください。

【ソフトボール交流大会】

■日程

10月26日(日)

開始式 8時30分～(湯之元球場)

交流試合 10時～(予選リーグ戦)

健康づくり教室 10時～16時

10月27日(月)

交流試合 9時～(予選リーグ戦、決勝トーナメント)

健康づくり教室 9時～15時30分

10月28日(火)

交流試合 9時～(準決勝、決勝戦)

表彰式 12時～(東市来総合運動公園)

■会場 東市来総合運動公園・湯之元球場

■参加予定チーム数 64チーム(960人)

【ウォークラリー交流大会】

■日程 10月26日(日)

開始式 9時30分～

交流大会 10時30分～

表彰式 15時30分～

健康づくり教室 10時～15時30分

■会場 伊集院文化会館及び周辺特設コース

■参加予定チーム数 84チーム(390人)

高齢者の部(全国より代表チーム) 38チーム(190人)


一般参加の部 46チーム(200人)

ギャラリー 私の作品展

『菊花』

野崎 利則さん(85歳) 吹上町永吉

伊集院小学校の教諭をしていたとき、全国図画工作研究会のために、6年生の児童といっしょに菊を200鉢つくりました。それ以来、興味を持ち菊をつくっています。「菊は年間を通して世話をすることがたくさんあるため、子育てと同じように毎日、菊と話をしながら世話をしています」と野崎さん。毎年、鹿児島市の仙巖園で開催される菊花コンクールに出品。また、地域の文化祭にも展示している野崎さんは、「菊を見に来てくれた方と話をするのが楽しみです」と話します。これからも元気に菊づくりを続けたいですね。







ウォッチまの文化財 40

しょうごんじ **荘厳寺跡**(伊集院地域)

伊集院地域猪鹿倉地区に2体の仁王像があります。これは、かつてこの場所にあった荘厳寺を守っていた仁王像です。他に古い石塔などが残っています。室町時代の初め(約600年前)、猪鹿倉出身の僧侶の良範は、現在の群馬県にあった大聖寺で修行し、真言宗小野派の教えを体得しました。良範は応永25(1418)に猪鹿倉に帰り、荘厳寺を建立しました。荘厳寺は、鹿児島の大興寺、坊津の一乗院と並んで三州(薩摩・大隅・日向)の密教三本山の一つとして、隆盛を極めたとされています。島津本家15代当主貴久(1514~1571)は荘厳寺への信仰が厚く、天文19(1550)年に伊集院から鹿児島へ居城が移ると、荘厳寺の住職を鹿児島に招いて大乗院を建立し、大乗院を薩摩における真言宗小野派の総本山としました。そして、荘厳寺は大乗院の末寺となりました。荘厳寺は末寺となった後も、人びとの信仰を集めておおいに栄えましたが、明治の廃仏毀釈により廃寺となりました。

Access
日置市本庁から車で2分


わたしの夢

私の将来の夢は、学校の先生になることです。なぜ学校の先生になりたいかというと、私は、みんなに教える事が好きで、よく担任の先生を観察しています。やさしい先生、こわい先生、若い先生、人気の先生などたくさんいます。その中でも、私の今担任をしている先生は、よく笑わせってくれたり、忘れ物をします。

私の将来の夢は、学校の先生になることです。なぜ学校の先生になりたいかというと、私は、みんなに教える事が好きで、よく担任の先生を観察しています。やさしい先生、こわい先生、若い先生、人気の先生などたくさんいます。その中でも、私の今担任をしている先生は、よく笑わせってくれたり、忘れ物をします。

修学旅行では、カメラ立てや弁当をバスの中に忘れていたりしていてもいいです。だから、私は将来先生になれたら、おもしろい先生になりたいです。

先生になる試験に合格できるか心配な時思いつく言葉は、「恵のこなひびきのやま」です。これから夢に向かってがんばりたいです。

和田小学校六年 崎向 恵さん

いきいき ひと

シリーズ39

郷土史を語り継ぎたい

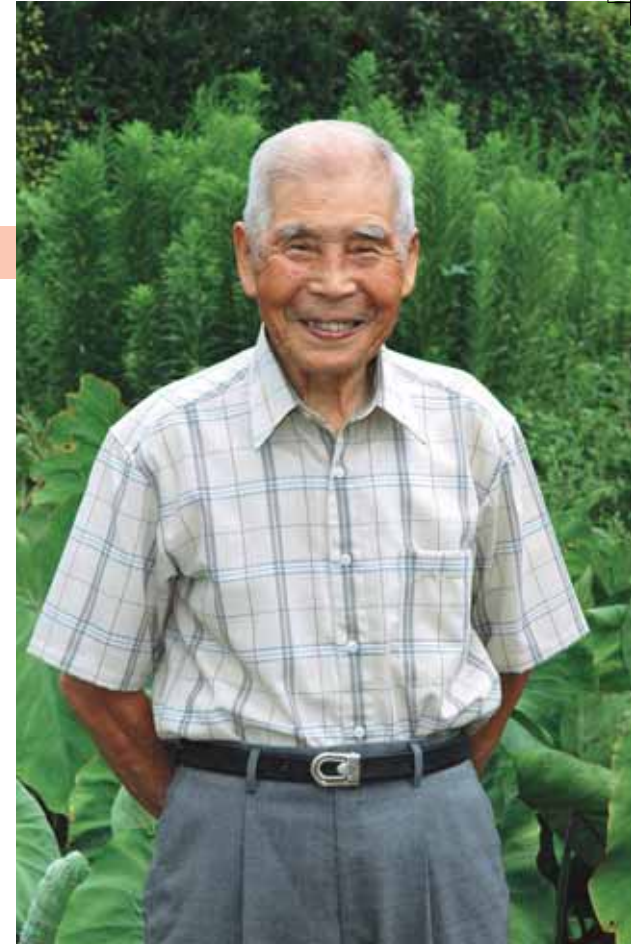
日吉町日置にお住まいの伊堂寺さんは、昭和六十三年に日吉町の郷土史(上下巻)が完成した事がきっかけで、郷土の歴史を町民の方々に知ってもらいたいと平成三年に設立された日吉町史談会の会長を平成十七年から務めています。この会では、毎月第二火曜日に勉強会を開いています。平成十九年八月には、「郷土の人が語る戦争体験記」を手作りで完成させました。「将来的には、日吉地域の史跡ガイドブックも手作りでいいから本にして残したい」と話します。

現在、公民館講座の郷土史講座の講師も務めていて、毎月第三火曜日に十五人の講座生の方に郷土の歴史について教えています。

今年、六月と七月の二回、鹿児島県社会福祉事業団から依頼があり、「篤姫」や「小松帯刀」について講演もしました。

また、子どもたちにも日吉地域に伝わる民話などを話してあげたいと今年四月には、吉利小学校で講演。毎年一月には、日新地区の「冬に集うお話し会」に参加しています。「このときの子どもの真剣に聞いている生き生きとした表情を見るのが楽しみです」と話す伊堂寺さんの楽しみは、毎月一回の俳句会に参加し、仲間と交流しながら俳句を読むことです。また、晴れた日はほとんど畑に行き野菜を作っています。

「これからも、元気で郷土史などを語り継いでいきたいですね」



い どう じ しげ よし
伊堂寺 重義さん[87歳]
日吉町日置(日新自治会)
●日吉町史談会会長

元気のあるお子さんの写真を募集しています。

市内に在住の6歳以下のお子さん
①氏名②生年月日③保護者氏名④お子さんの近況⑤お子さんへのコメント
⑥広報へのご意見⑦連絡先を添えて、市役所総務企画部企画課(住所は末じまでお送りください)。

わんぱく直送便

名越 歌乃夢ちゃん(1歳1か月)
父 敏彦さん 母 礼美さん (伊集院町野田)
■おかあさんから
歌乃夢の笑顔に癒されます。これからの成長が楽しみです。やさしい女の子になってね。

中 梨緒奈ちゃん(1歳0か月)
父 俊二郎さん 母 理恵さん (伊集院町郡)
■おかあさんから
これからも元気にすくすく育てね。



鹿児島県日置市

市の人口(住民基本台帳)

総人口 52,234人(△29)
 男 24,430人(△15)
 女 27,804人(△14)
 世帯数 22,449 (△6)
 9月1日現在()は前月比

市の面積 253.06km²

今月の表紙



にぎやかに行われた夏祭り

夏の暑さも忘れてにぎやかに夏祭りが行われ、たくさんの方が夏の一夜を楽しんでいました。

(「銀天街・向江町・土橋地区夏祭り」)

P18 関連記事)

No.41 平成20年9月号

発行/日置市役所
 総務企画部企画課

〒899-2592
 日置市伊集院町第一丁目100番地

TEL 099 (273) 2111
 FAX 099 (273) 3063

東市来支所
 TEL 099 (274) 2111

日吉支所
 TEL 099 (292) 2111

吹上支所
 TEL 099 (296) 2111

<http://www.city.hioki.kagoshima.jp/>

平成十八年四月に片町・池上・道上・小園・前屋敷・冷水・松山の七集落が統合して、新たに発足した吉利南区自治会。日吉地域の最南端、吹上地域との境に位置し、平成二十年九月一日現在で二百九世帯、四百八十九人が暮らしています。自治会が統合して丸二年が経ちこれまで以上に自治会活動や伝統芸能また、吉利校区全体での活動などに、地域住民一体となって取り組んでいます。



▲田植え踊りの準備



▲田植え踊り

田植え祭り「せつぺとべ」で鬼丸神社に奉納されます。また、大鼓踊りは吉利地区の北区、中区、南区の輪番で八月に南方神社に奉納。来年は、南区の当番になっています。

地 区の活動としては、地域を美しくする活動としての「花いっぱい運動」、育成活動としての六月灯や十五夜、鬼火焚きなどがあり、この鬼火焚きは、今年から吉利校区で開催し、小学校のグラウンドで行うようになりました。また、健康増進を

こ れからも、地域の子どもから高齢者まで一緒に楽しめるような活動ができるように、自主的な話し合いを持ちながら連帯感を深め、地域の「和」を大切にし、明るく楽しんで生活できるような、活気のある地域にしていきたいです。

吉利南区自治会
 (日吉地域)



わが地域



▲手塚英司会長

自主的な話し合いに基づき地域の活性化を図る

よじとみなみ
 吉利南区自治会(日吉地域)

日 吉地域の最南端に位置する吉利南区自治会は少子高齢化の進む地域ですが、自治会が統合して丸二年が経ち自治会活動などこれまで以上に、地域住民の方が楽しんで参加できるように心掛けています。

伝 統芸能としては、田植え踊りや太鼓踊りがあります。この田植え踊りは、毎年五月から練習し、六月に開催されるお



▲花いっぱい運動

図るためのバレーボール大会やグラウンドゴルフ大会などを開催し、大勢の住民の方が楽しく参加しています。

こ のほかにも、学校運動会や地域体育祭などへ積極的に参加し地域の親睦を図っています。

イ ベントとしては、毎年十二月に南区祭りを開催。もちつき大会や野菜品評会、ビンゴゲームなどがあり、たくさんの方でにぎわいます。

ま た、年三回(四月、八月、十二月)「いけんはい」(地区の広報誌)を発行し、これらの活動内容や、地域の話題など地区住民のだれもが共有できるようにしています。